

**I. 主な担当科目**

応用ミクロ経済学 D

**II. 研究分野**

産業組織論、組織経済学

**III. 研究分野（英語表記）**

Industrial Organization, Organizational Economics

**IV. 修士課程学生のゼミ履修要件**

中級以上のミクロ経済学を履修し、好成績をおさめていること。ゲーム理論に関する基礎的事項を理解しており、基礎的な微積分の知識を有すること。ミクロ理論・ゲーム理論の現実問題への応用分析に興味があり、煩雑な数学的分析を厭わないこと。「応用ミクロ経済学 D」を履修して好成績を取っていることが望ましい。熱意がある研究者志望の院生を歓迎します。

**V. ゼミ選考期間**

2021 年 4 月の履修登録期限前に面接選考を行います。できるだけ早く、遅くとも 4 月の第 1 金曜日午後 5 時までに、メール (hodakamorita[at]gmail.com) でどのようなテーマで研究したいのかを伝えてください。こちらから面接日時を連絡します。[at]は@に読み替えて下さい。なお、選考は佐藤進先生と共同で行う場合があります。

**VI. 指導方針**

履修は 1 年次からでも 2 年次からでも可。自分の研究関心が明確になっていることが重要（特に 1 年次からの場合はこの点注意）。博士後期課程への進学（海外の大学を含む）を希望する院生、研究者を目指す院生を歓迎。まず、ミクロ理論・ゲーム理論の現実問題への応用分析（主に産業組織論、組織経済学、人的資本論の分野で）の手本となるような論文をいくつか輪読する中で、それぞれの院生が各自のテーマを設定します。次に、各自のテーマに合わせて、関連する論文を批判的に読み、独自の理論モデルをいかに構築し分析すべきかを議論します。そして、理論モデルの分析・修正を繰り返して論文を完成させてゆきます。それらの過程を通じて、現実問題を踏まえて理論モデルを構築し適切に分析する力、理論分析結果の背後にある論理・直感を理解し経済政策・経営戦略などへの含意を探求する力、さらにはそれらの結果をわかりやすく論文に表現する力を養います。これらの課題に対し、院生各自が自主性と熱意を持って取り組むことが重要です。

**VII. 博士後期課程への進学要件（コア科目）**

中級以上のミクロ経済学を履修していること。

**VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）**

2022 年度までに博士に進学を希望する学生は、ミクロ経済学の進学資格試験ないし博士後期課程編入学試験（筆記試験）に合格していること。

**IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他）**

個別に伝える。

**X. 共同開講者に関するメモ**

佐藤進ゼミと共同で開講する。

**XI. 詳細リンク先 URL**

私自身の研究関心や業績については以下のリンクを参照のこと。

<https://sites.google.com/site/hodakamorita/>